

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

企業就労を通じて自立と社会参加を促進し、社会に貢献できる人材を育成する学校。

- 1 生徒の人権を尊重し、個々のニーズをふまえた教育実践を進め、企業就労と社会貢献を実現させる学校。
- 2 地域社会や企業、関係機関との幅広い連携や交流を充実させ、生徒が主体的に社会に参加できる力を育てる学校。
- 3 教員の専門性を高め、社会の変化や多様性を踏まえた組織を構築することで、職業教育の充実を図り「働き続ける力」を伸ばす学校。

2 中期的目標

1 社会的自立に必要な力を養うための特色ある教育活動の充実

- (1) 新学習指導要領をふまえた教育課程により、確かな学力をはぐむための「主体的で対話的な深い学び」を軸に授業改善に努める。
※学校教育自己診断の「授業中に発言や発表することがある」の項目では生徒の肯定率を80%以上にする。(R1:62.1%、R2:80.7%、R3:75.6%)
- (2) キャリア教育の観点からの自立活動を充実させることにより、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導、支援を図る。
※高等支援学校における適切で有効な自立活動を実施し、専門人材の活用など効果的かつ効率的な指導、支援を行う。
- (3) 生徒の自己肯定感を高め、自己実現と働き続ける力を育成するための「進路学習・進路指導」を推進する。
※全生徒に学校生活を大切にしたい規則正しい生活習慣が定着し、豊富な実習体験により適切で効果的なジョブマッチングを重視した進路指導を行い、高い就労率と定着率を維持し、アフターフォローを重要視する。定着率100%をめざす(再雇用含む)(R1:93%、R2:97%、R3:96%)
- (4) 1人1台端末の効果的な活用とICTを活用した授業等の推進に努める。
- (5) 生徒会活動の充実、高等支援学校や高校(高等部)とのスポーツ交流機会の拡大とクラブ活動の活性化を図る。

2 高等支援学校教員としての資質の向上とこれからの時代の変化に対応できる学校組織力の向上

- (1) 教員全員の指導力、授業力の向上を組織的に推進し、社会の変化に対応できる「学び続ける」教職員の育成をめざす。
- (2) 生徒への適切な指導実践を行うために、教職員一人ひとりが人権意識をより高め、障がいの理解や支援方法などについての専門性向上を図る。
※学校教育自己診断の「担任の先生に、困っていることや、悩みを話せる」の項目で令和4年度には肯定率80%達成をめざす。(R1:71.3%、R2:77.3%、R3:77.8%)
※令和6年度には支援学校教員免許の所有率80%以上をめざす。(本校籍教員R1:47.6%、R2:61.9%、R3:69.2%)
- (3) 教員間の意思疎通を図り、経験年数の少ない教員への手厚い支援や健全な同僚性のもと、積極的に学校経営に参画する仕組みを整え、組織力を向上させる。
※学校教育自己診断の「学校組織」での全項目(特に「経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取れている」項目)で令和5年度には肯定率70%以上とする。(上項目R1:52.3%、R2:50.0%、R3:58.5%)

3 地域や関係機関、企業との連携や交流を充実させるとともに、積極的に情報を発信し本校の教育活動への理解啓発を推進

- (1) 地域社会の中で積極的に活動し豊かに生きるために、交流及び共同学習の充実や地域活動への積極的参加で連携を図り相互理解を深める。
※地域の様々な機関等との連携により、校外での販売学習の機会増を図る。
- (2) 本校の様々な教育活動を積極的に外部発信するなど広報活動の充実により地域、企業との連携を深める。
- (3) 危機管理体制の充実と地域との連携により防犯・防災教育を行い、「主体的に行動する態度」と「共助」に関する意識の向上をめざす。
- (4) グローバル化や情報化をはじめとした社会の加速度的な変化に対応するため、国際理解教育、国際交流を推進することで、国際的な視野を育むとともに、これからの時代に生きる力を育成する。

4 校務の効率化による働き方改革

- (1) ワークライフバランスを意識した働き方改革を推進するとともに、業務分担の適正化を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学校へ行くのが楽しい】 生徒:73.6%、保護者:85.9%で令和で最も低い値。 【学校行事は楽しみ・工夫されている】 生徒:79.1%、保護者:89.4%で令和で最も低い値。教員:90.5%でR3より高い値。 上記2項目について、生徒の約1/4が「学校は楽しくない」と捉えていることは、その原因を深く探る必要がある。学校は様々な方面にアンテナを張り、保護者との連携の基に、生徒の学校生活が有意義であり、「楽しい」と思えるものをする必要がある。 【生徒会】 生徒:79.1%、教員:92.9%で令和で最も高い値。 【授業はわかりやすい】 生徒:92.3%、教員:92.9%で令和で最も高い値。保護者:84.7%でR3より低い値。無回答が8件と多い。学校としては生徒が帰宅後に、これまで以上に「授業がわかりやすかった」「分かってよかった」と進んで話せるような授業づくりをめざしていく必要がある。 【授業中の発言や発表】 生徒:79.1%でR3より高い値。 【自立活動】 教員:71.4%でR3より高い値。学年での「朝の読書」や「学校生活振り返りシート」等の活動で、生徒の様子の変化が見られるようになった。 【ICTの活用】 教員:90.5%で令和で最も高く、R3に続き90%台。 【1人1台端末の活用】 生徒:93.4%、教員:88.1%と高い値。保護者:76.5%と低い値。無回答が9件と多い。活用の実態が保護者に伝わりにくい面がある。授業参観、学年便り、学校HP等で、積極的に紹介が必要。</p>	<p>第1回 6月27日開催 ○令和4年度「学校経営計画」について ・1人1台端末について、「生徒が持ち帰って宿題を行うことがあるか。」の質問があり。 ○令和4年度使用教科書選定について ・実物の教科書を見ていただき、委員から個別の質問に回答した。 ○授業参観アンケートについて(5/7:土曜参観) ○令和3年度3年生(7期生)進路状況について ○地域交流について(淀川わいわいガヤガヤ祭、安満遺跡公園ハンドメイドフェス等) ○学校いじめ防止基本方針について ・以上について説明を行い、了解を得た。</p> <p>第2回 11月16日開催 ○授業見学について ・卒業後の生活につながる授業内容で、生徒が積極的であった。 ・初めて授業を見学した。生徒の就労に向けて、先生方のご努力、真剣に取り組んでいる姿があった。力強い社会人になってくれることを期待している。健常者以上の力を持っていると感じた。 ・初めて授業見学をした。生徒が自力で取り組む姿勢に感銘を受けた。弊社に実習に来る生徒の普段の様子が分かった。調理実習のハンバーグはとてもおいしそうだった。 ・朝から下校前までの授業全体ではものすごい情報量だろう。子どもに授業の様子を尋ねても「わからない」と言うのは無理からぬことだろう。家ではハンバーグを食べないが、調理実習では食べることに驚いた。 ・美術では心豊かな作品を多く見た。生徒同士が作品を見合っ、評価を発表していた。</p>

府立とりかい高等支援学校

【進路を考える機会】

生徒:86.8%で令和で最も低い値。保護者:92.9%。教員:90.5%で令和で最も低い値。いずれも前年度との差は小さく、85%以上の高水準。

【進路情報の提供・指導】

生徒:93.4%とR3より高い値。教員:92.9%で4年連続90%台。上記の2項目について、本校の進路指導は機会の設定や質等が安定的に保たれていることを示している。

【進路指導・関係機関との連携】

教員:95.2%と高い値。4年連続90%台。進路に関するケース会議やそのノウハウが教員間で共有されている。

【困っていることや悩みを相談できる】

【担任への相談】生徒:65.9%で令和で最も低い値。【担任外への相談】生徒:71.4%でこの3年間で最も低い値。教員は【相談体制・担任以外】92.9%でR3より高い値。相談体制が整備されているにもかかわらず、それを活用する生徒は一部に留まり、利用したことのない生徒が多い。「相談しても解決につながらない」、「負担をかけたくない」、「自分で何とかする」といった考えがあることが想像される。学校として「サポートする姿勢」を表明し、「相談して良かった」という生徒の成功体験を積むことが必要。

【いじめ】

生徒:84.6%でこの3年間で最も低い値。保護者:90.6%でR3より低い値が90%台と高い値。無回答が7件と多い。

【生徒の障がい理解】

生徒:92.3%で令和で最も高い値。保護者:84.7%で令和で最も低い値。無回答が5件と多い。

【生徒の意見を聞く】

生徒:92.3%でR3よりやや低い値。2年連続で90%台。教員:92.9%で令和で最も高い値。4年連続で90%台。

【指導の納得】

生徒:82.4%でR3より高い値。2年ぶりに80%台。学校として今後も生徒の理解が深まる指導を心掛ける必要。

【人権の尊重】

保護者:90.6%でR3よりやや低い値。90%台と高い値。無回答が7件と多い。教員:90.5%でこの3年間で最も高い値。

【服務規律】について、教員:83.3%で令和で最も高い値。職員会議等で、服務について事例紹介等を繰り返し行っている成果。

【いのち・人権学習】

生徒:87.9%でこの3年間では最も低い値。保護者:87.1%と令和で最も低い値。無回答が9件と多い。教員:90.5%とこの3年間では最も高い値。

【社会のルール・道徳】

生徒:93.4%と令和で最も高い値。4年連続90台。教員:69.0%と令和で最も高い値。「年間計画」「継続して」に関して厳しい評価の可能性。学習効果としては一定の評価ができる。

【性の学習】

生徒:84.6%とこの3年間では最も低い値。保護者:81.2%とこの3年間で最も高い値。無回答が12件で最も多い。教員:88.1%とこの3年間で最も高い値。

【個別の支援】

保護者【説明】95.3%でR3より低い値。95%以上であり、極めて高い水準。【ニーズ】95.3%でR3より低い値。4年連続95%前後。極めて高い水準。教員:88.1%で令和で最も低い値。80%台後半は高い水準だが、「ニーズを踏まえ」に、その設定の難しさを感じている。校内研修や事例検討を重ね、生徒のアセスメントや手立ての設定する力を高める必要。

【生徒評価】

生徒:97.6%で4年連続95%以上と極めて高い値。教員:81.0%で令和で最も高い値。保護者、教員の双方が高く評価している項目であり、今後も継続する必要。

【地震・火災】

生徒:86.8%で令和で最も低い値。4年連続80%台後半。保護者:97.6%で4年連続95%以上。極めて高い水準。教員:81.0%R3より低い値。夏の「防災士による防災研修」を経て、より具体的で効果的な防災計画の必要性を求めようになった。

【個人情報】

保護者:89.4%令和で最も低い値。無回答が9件と多い。教員:83.3%で令和で最も低い値。「管理システムの周知」の部分が十分でない可能性。個人情報の取り扱いについては職員会議等で他校の事例紹介をし、本校においても同様のことがないように注意喚起を継続する必要。

【家庭との相互理解】

4つの項目はいずれ90%以上で高い水準。

【保護者の願い】

【文書】

【子の悩み相談】

【教育方針】

【授業参観】

【情報発信】

【連絡帳】

【相談機関の情報】

【教育活動に必要な情報】

【意見を聞く機会】

【ホームページ】保護者:80.0%でR3よりやや低い値。教員:83.3%。双方がもっと高く評価できるように、必要な情報が得られやすい表示に工夫していくことが必要。

【地域交流】

保護者:84.7%でR3より低い値。無回答が7件と多い。教員:83.3%と令和で最も高い値。コロナ禍で制限が多い中、少しずつ実施できるようになったことから、その機会の貴重さ、重要さを再認識した。

【いじめの相談体制】

生徒がいきいきとしていた。「あのような授業を受けてみたい」と思わせる授業であった。

○令和4年度「学校経営計画」【進捗】について

・「Jアラート（ミサイル）」に関する訓練はしているか。

・「教育支援クラウドサービスを活用した災害時における生徒の安否確認訓練」とはどのようなものか。

○第1回 授業参観週間保護者アンケートについて

○体育祭（10月）アンケートについて

○学校教育自己診断の実施について

○令和4年度3年生（8期生）進路先について

以上について説明を行い、了解を得た。

○その他、質疑応答

・12月の「SNS研修」とはどのようなものか。

・成人年齢が18歳に引き下げられたことについては、どのような取り組みがあるか。

・障がい者年金について知らない人が多い。「親は一生、親である」から情報を常にアップデートする必要がある。現時点で10年後の子どもの姿を想像することは難しい。「子どもを置いて死にたくない」「1秒でも子どもより長く生きたい」が多くの親の気持ちではないだろうか。研修で多くのことを学びたい。親ができることを一つでもやっていきたい。

・「障害者権利条約」の批准から10年近くになる。それまでは障がい児教育に関わる先生方が知識を増やし実践してきたことにより、障がい児教育が充実してきた。成年後見人についても、後見人がつくことで本人が安心できるのかどうか懸念が残る。本人が意思決定できるように支援していくことが肝要である。昔は「先生の言うことを聞いて黙ってやりなさい」という教育が多かった。今日の見学した授業のように、生徒が主体的に学ぶ機会を増やすことで、生徒が「自己決定」できるようになってほしい。

第3回 3月2日開催予定

○令和4年度学校評価について

・3-（3）「防災」について、避難訓練は年間何回行ったか。摂津市との連携、地域（烏飼上地区）との合同防災訓練をするのはどうだろうか。自治会としては、学校が避難所になっているが、一度も訓練したことがない。学校のガキを預かっているが、校内に入ったこともない。

・令和4年度入学者選抜は定員割れで、今回は41名の受験者と増えたことは、先生方の努力が実ったのだと思う。

3月13日からのマスクの取り扱いについて政府の方針が打ち出されているが、1・2年生の3月20日の修了式までは、学校としてどのような対応をするのか。

・2-（3）「経験の少ない教員への対応」について、54.8%と厳しめの数値をどう捉えているか。「生徒の障がい理解」について、生徒92.3%と高く、保護者は84.7%とやや低い。どう捉えているか。

・先生方に対して、子どもが感じているより、親は厳しく回答しているかもしれない。親は細かいことまで学校に求めることがあるが、子どもは学校に満足している。親はどうしても「もの足りない」と思うってしまうのかもしれない。実際に先生方はよくやっていたと思うが、小、中、高と自立に向けて段々と支援が減っていく現実を親が受け入れられない部分があるのかもしれない。親も子の成長に合わせて、変わっていかねばいけないと思う。

・カウンセラーの活用をされているが、「インターネット」「SNS」等に関する相談はあるか。

○令和5年度学校経営計画について

○第2回授業参観週間保護者アンケートについて

・7つの授業について感想があるが、アンケートの回収は1件で合っているか。

○学校祭来場者アンケートについて

・保護者の中には、フォーム作成ツールの苦手な方もいるのではないか。

・保護者の中にはフィーチャーフォンを使用している方や、学校でスマートフォンやタブレット端末について教わっていない世代の方は一定数いるだろう。そのような保護者のICTリテラシーの向上は、子どもの成長にとって不可欠である。PTAと連携してフォーム作成ツールに関する講習会を催すなどして、アンケートを取りこぼすことのないようにしていくのはどうだろうか。今後の保護者案内文書のデータ化に向けては、保護者と教員の連携も必要になるだろう。

○令和4年度3年生（8期生）の進路状況について

・特例子会社よりも一般企業が多いようだ。人手不足の介護や物流が多いようだが、過去の定着率はどうか。企業が採用するだけで、ほとんど仕事がないような状況でなく、戦力になっているなら安心できる。

・生徒と業種の入念なマッチングが実習に生かされ、その成果として就職につながっている。

○その他のご意見等

・成年年齢が下がったことから、就職後における先生方のサポートがこれまで以上に必要になるだろう。卒業しても相談に行ける学校であってほしい。

・就職において、一般雇用の方との人間関係はどうか。多くの人に守られている学校生活とのギャップに悩み、挫折感をもって辞める人はいるか。フォロー体制や受け皿はあるか。

・「防災」、「安心・安全」に関連して、弊社の社員で、電車通勤時の災害等による「振替輸送」のメカニズムの理解が難しく、改札通過時にお金を払ってしまう人がいる。

・企業実習に行っている時に、実際に電車が止まった場合、生徒本人が「電車の中では電話は使ってはいけない。」と強く思っていると、対応について連絡することが難しくなる。

府立とりかい高等支援学校

<p>92.9%で4年連続 90%台。 【会議・有能性】 73.8%で令和で最も高い値。 【学校運営への意見】 78.6%で令和で最も高い値。 【人間関係】 66.7%で R3よりは高い値。教員としての仕事のベクトルの向き、職場としての同僚性等を調えることは容易ではないが、やはり高い次元をめざすべき。相手を尊重したコミュニケーションを心掛ける必要。 【経験の少ない教員の育成】 54.8%で4年連続 50%台。初任者の指導教員や同じ教科の教員はサポートしていても、「学校全体で」の部分の判断が難しい。研究授業・協議への参加率の低さも影響している。 【研修の伝達】について、 69.0%と R3より高く、令和で最も高い値。研修で得た最新情報等を共有する機会を増やし、学校全体のレベルアップを図る必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が希望する職種に就労していることは、先生方のご尽力がいかにすごいか。就労移行支援事業所が増えているが、進む際の決定打は何か。 令和4年度の評価から、ダンス部の活躍がすごい。高等学校芸術文化祭に支援学校が出ることに意味がある。実際のところ、社会には偏見や差別がまだある中で、支援学校が切り拓いて、生徒の活躍する場を見せることがいかに重要か。特別支援教育になり 10 数年、まだまだ世間は冷たい。卒業生が活躍する社会であってほしい。先生方は令和5年度の仕事の効率を上げられるように、うまく時間とエネルギーを割いてほしい。期待している。
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 特色ある教育活動の充実	(1) 新学習指導要領をふまえた教育課程による「確かな学力」を育むための授業改善	(1) ア 新学習指導要領をふまえ、新シラバスに沿った指導ができたか検証し、充実した教育活動を行う。	(1) ア・毎月の教科・学科会議にてシラバスや授業内容の確認を継続 ・授業の改善等のための教科会を毎月実施 ・学校教育自己診断「意見を伝える、発表することがある」肯定率 80%以上 [75.6%]	(1) ア・教科・学科会を毎月実施。シラバス、授業内容を確認。12月末にR5年度シラバス完成 ・学校教育自己診断「意見を伝える、発表することがある」肯定率 79.1% <△>
	(2) 自立活動の充実とニーズに応じた適切な指導・支援	(2) ア 生徒の実情に応じた自立活動に関する研修の充実 イ 専門人材の活用推進 ウ 昼休みに相談窓口を設置し、日常的、組織的、計画的に気軽に相談できる体制を継続する。 エ 安心・安全の保障 コロナ対応を継続する。	(2) ア・自立活動に関する教員研修2回/年 [2回] イ スクールソーシャルワーカー、臨床心理士の積極的活用年 46 回以上 [46回] ウ・学校教育自己診断「担任の先生に悩みを相談できる」「担任の先生に困っていることを話せる」肯定率 80%以上 [77.8%] エ・感染症予防に関する指導の徹底 ・生徒保健委員会で手指消毒、咳エチケット、マスク着用、換気、教室の消毒を推進 オ・年間遅刻総数の減少 200 未満 [245] ・校門での登校指導、下校指導の徹底	(2) ア・自立活動に関する教員研修3/20 に事例検討を含む2つのテーマで実施予定 <○> イ・スクールソーシャルワーカー：30日(6H/日) 臨床心理士：11日(5H/日) 計41回 支援教育課からの予算配当により回数減 <△> ウ・学校教育自己診断「担任の先生に悩みを相談できる」「担任の先生に困っていることを話せる」肯定率 68.7% <△> エ・日常的に、担任、授業者が指導 <○> ・生徒保健委員会が感染症対策を実施 活動内容は令和4年度大阪府立学校保健研究発表大会で発表(歯みがき100%大作戦リターンズ) <○> オ・年間遅刻総数 199人 <○> ・生徒指導部が中心に実施
	(3) 自己実現と働き続ける力を育成するための「進路学習・進路指導」を推進	(3) ア 職場開拓 イ 企業への広報活動の充実 ウ 計画的なキャリア教育 エ 校内外進路学習、企業実習の充実 オ 保護者や外部への十分な進路情報の発信 進路指導だより、PTA 研修会・見学会、ホームページの充実	(3) ア・進路指導部を中心に効率的な職場開拓を実施(長期休暇中に全教員一人1回以上/年) [約7割が1回以上/年] イ・企業への説明会、見学会実施3回/年[2回/年] ・個別の見学会実施20件/年をめざす[個別見学15件/年] ウ・1学年での指導の徹底のため、実習参加に向けた「学校生活振り返りシート」の活用 エ・就労や社会参加につながる企業実習を2年修了までに4社以上達成者4割 [2年生3割] ・教員研修3回/年 [2回/年] オ・学校教育自己診断「学校以外の相談機関の情報を学校から入手できる」肯定率 85%以上 [81.6%]	(3) ア・夏季休業中に1、2年教員全員が企業開拓、3年教員は求職登録手続きを実施 <○> イ・とりかい見学セミナー7/11、学校祭 11/12 2回 <△> ・個別見学会 25 件(10月末現在) <◎> ウ・7月より毎日記入。週末集約。 <○> エ・2年生の企業実習4社以上5割 <◎> ・4/14「本校の進路指導の特色」、6/8「キャリアプランニングマトリックス」、7/20「ビジネスマナー」、12/14「進路情報」 <◎> オ・学校教育自己診断肯定率 78.8% <△>
	(4) 1人1台端末の効果的な活用と ICT を活用した授業等の推進	(4) ア オンライン学習体制の推進	(4) ア・全授業で一斉または個別学習に対応できているか、公開研究授業週間等を利用して確認。	(4) ア・主として、理科、家庭科で資料をプリントせずに1人1台端末を活用して資料配付 <△> ・授業観察で確認 10回/年 5割 <△>

府立とりかい高等支援学校

	<p>(5) 生徒会活動の充実とスポーツ交流会の拡大やクラブ活動の活性化</p>	<p>イ 電子黒板を活用した授業の充実</p> <p>(5) ア 大会等への積極的参加</p> <p>イ クラブの活性化</p> <p>ウ 生徒会（委員会等）活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末を活用した授業を全教員10回/年実施。 イ・研究授業は可能な限り電子黒板、1人1台端末を活用2回〔実績なし〕 ・電子黒板、1人1台端末を活用した公開授業12人/年〔10人〕 <p>(5) ア・感染症予防を念頭に置きつつ高等支援学校リーグ戦、府代表レベル、全国レベルの大会出場。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツや文化芸術活動に積極参加。 <p>イ クラブ加入率80%以上〔76%〕</p> <p>ウ・生徒委員会活動を大阪府レベルで発信</p>	<p>イ・研究授業での活用状況 2回 <○></p> <p>・公開授業での活用状況 12人 <○></p> <p>(5) ア・スポーツ部、文科系部ともに参加できる大会にはすべて出場 <○></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学校ではじめて高等学校芸術文化祭ダンス部門に出場 <◎> <p>イ・部活動加入率 70% <△></p> <p>ウ・生徒保健委員会「大阪府立学校保健研究発表大会」出場 <○></p>
<p>2 高等支援学校教員としての資質の向上と学校組織力の向上</p>	<p>(1) 指導力・授業力の向上</p> <p>(2) 人権意識と専門性の向上</p> <p>(3) 経験年数の少ない教員への支援と積極的な学校経営参画と組織力向上</p>	<p>(1) ア 新転任者を対象とした校内外研修の充実</p> <p>イ 公開研究授業週間の充実</p> <p>ウ 高等支援学校のミッションの理解</p> <p>(2) ア 人権意識、コンプライアンス意識の向上を図るとともに、コロナ禍における偏見や差別、風評被害などのない教育活動を徹底</p> <p>イ 専門性の向上</p> <p>ウ 教員がビジネスマナーを習得する（教員の授業に応じた身だしなみ、言葉づかい、TEL 対応等徹底）</p> <p>(3) ア 人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーの育成 ・新転任者、経験年数の少ない教員への支援 <p>イ 組織的・継続的な人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画委員会の充実 	<p>(1) ア・新転任研修の充実のため、首席、指導教員による事例を活用した研修を実施10回/年〔7回/年〕</p> <p>イ・公開研究授業週間2回/年実施を継続〔2回/年〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の全高等支援学校説明会への参加〔1校/年〕 ・教員相互参観各自3授業2回以上 <p>ウ・オープンスクール、学校見学会、高等支援学校研修会で新転任者が説明〔実施なし〕</p> <p>(2) ア・人権研修3回/年（同和問題、体罰防止、卒業後の生徒支援関係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な授業観察を通して教員間、対生徒への丁寧な言葉遣いの徹底 ・SNS等インターネット上に係る差別やいじめに関する研修実施1回/年〔1回/年〕 ・個人情報の扱いに対し、教職員の意識向上とセキュリティポリシーの遵守の研修1回/年〔1回/年〕 <p>イ・支援学校免許取得本校籍80%以上〔69.2%〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい理解研修2回/年 <p>ウ・ビジネスマナー研修2回/年〔2回/年〕</p> <p>(3) ア・首席によるOJT、教育庁の研修等活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パティ制1回/月、ファミリー制1回/2か月実施の徹底 ・学校教育自己診断「経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取れている」肯定率70%以上〔58.5%〕 <p>イ・職員会議後の時間を活用して研修参加教員の伝達講習実施10回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画委員会で将来構想を1回/月議論 ・学年主任会1回/週 ・学校教育自己診断「教職員は、学校の運営や改善に役立つよう積極的に意見や考えを発信している」肯定率75%以上〔68.3%〕 	<p>(1) ア・新転任研修 10回実施 <○></p> <p>イ・公開授業週間7月、1月実施 <○></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の高等支援学校説明会参加1校 <○> ・3授業2回以上 5割 <△> <p>ウ・7/24「進学フェア」、10/29「実践報告会」で新転任者が学校紹介実施 <○></p> <p>(2) ア・7月「成年後見人・ジョブコーチ」、8月「同和問題」、12月「体罰防止」研修実施 <○></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に授業観察を実施、指導 <○> ・12月SNS研修実施 <○> ・個人情報紛失等に関する情報提供を職員会議で実施 セキュリティポリシーに関する研修を1回実施 <○> <p>イ・免許取得率本校籍63% <△></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者理解研修 2回実施 <○> <p>ウ・7/20「ビジネスマナー」、「企業訪問」について研修実施 <○></p> <p>(3) ア・分掌担当首席、生徒情報担当首席が学年主任と密な情報共有とOJTの実施 <○></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同学年、同教科の者が新転任者に声かけと新転任者アンケートの実施 <○> ・学校教育自己診断「経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取れている」肯定率54.8% <△> <p>イ・年間3回実施</p> <p>職員会議は時間設定を行い実施しているが、予定の時間を過ぎたことで予定の回数を実施できなかった <△></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画委員会を毎月実施し各種アイデアの聴取 <○> ・学年主任会は毎月実施 <○> ・学校教育自己診断「教職員は、学校の運営や改善に役立つよう積極的に意見や考えを発信している」肯定率78.6% <◎>

府立とりかい高等支援学校

<p>3 地域や関係企業との連携や交流の充実や理解促進の推進</p>	<p>(1) 積極的な地域活動参加と啓発活動の推進</p>	<p>(1) ア 地域行事への積極参加 イ 関係機関との連携 ウ コロナ禍でできなかった共生推進教室設置校との連携を進め、生徒間、教職員間の交流の機会を増やす。</p>	<p>(1) ア・3回以上/年参加 イ・関係機関との懇談、連絡会5回/年 ウ・スクーリング時での共生担当者による自立活動の授業の実施 [実績なし] ・共生推進設置校への教員派遣6回/年 [1回/年] ・本校生徒と共生生徒との学科交流会2回/年 [1回/年] ・設置校教員に向けた障がい理解研修実施 1回/年 [実績なし] ・共生スクーリング紹介映像の完成</p>	<p>(1) ア・4/2「安満遺跡ハンドメイドフェス」、5/29「わいわいガヤガヤ祭」、9/3「千里青雲高等学校祭」、9/10「安満遺跡ハンドメイドフェス」 <○> イ・摂津市、高槻市、茨木市の関係部署と生徒情報の共有 7回 <◎> ウ・1年生に対し1年間自立活動の指導を実施 <○> ・共生推進校への教員派遣2回/年 ・コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響のため予定の回数の派遣ができなかった <△> ・食とみどり科で交流実施7回/年 <◎> ・千里青雲高等学校に2人派遣9/29 <○> ・スクリーニング紹介映像作成中 <△></p>
	<p>(2) 広報活動の充実</p>	<p>(2) ア 本校の教育活動の発信 イ ホームページの更新と充実 ウ 視察、見学の受け入れや参加 エ 行事、授業等の積極的公開</p>	<p>(2) ア・中学校中学部教員向け「高等支援学校説明会」の実施2回/年（オープンスクール、学校見学会除く） [1回/年] ・新しい学校案内（職員室前校内掲示）の作成 ・学年通信（各学年）毎月発行 ・保健だより毎月発行 イ・全教員各自2回/年ブログUP（計画書作成） [年63回] (3/4現在) ・校長ブログの充実2回/週UP [年87回] (3/4現在) ウ・積極的に受け入れ、5回/年以上、他校等視察2回/年 エ・中学校、中学部を対象とした行事公開を実施 ・中学生対象の体験授業を夏季休業中に実施</p>	<p>(2) ア・中学校等教員向け「高等支援学校説明会」2回/年 <○> ・新しい学校案内について構想中 <△> ・学年通信各学年2～3カ月に1回発行 <△> ・保健だより毎月発行 <○> イ・全教員ブログUP 56回/年 <△> ・校長ブログUP 88回/年 <△> ウ・大学、福祉施設等 3件/年 <△> ・他校等視察 0件/年 <△> エ・中3生限定で学校祭を公開 <○> ・夏季休業中の体験授業はコロナ感染拡大で未実施 <△></p>
	<p>(3) 防犯・防災学習の充実</p>	<p>(3) ア 生徒向け防災学習の充実 イ 避難場所、避難所の確認徹底 ウ 備蓄品の充実と活用に向けた検討</p>	<p>(3) ア・防災学習3回/年 [3回/年] ・教育支援クラウドサービスを利用した災害時における生徒の安否確認訓練の実施 イ・マニュアルの確認改訂、防災計画に基づいた配備態勢など周知徹底、教職員防災必携の確認と常時携帯（学習会実施） ・摂津市防災委員との連携校内見学1回/年 ウ・PTAと連携した備蓄品の検討 ・学校祭で備蓄品紹介</p>	<p>(3) ア・5/6「火災避難訓練」、9/2「地震・津波避難訓練」、12/22「地震・津波避難訓練」 <○> ・9/2タブレット端末、12/22スマートフォンを使った安否確認訓練の実施 <○> イ・併設校摂津支援学校と合同訓練を実施する中で、マニュアルの内容、シミュレーションにおいて不十分な点が確認され、見直し検討、必携については職員会議で徹底 <△> ・摂津市防災委員の来校3/13 予定 <○> ウ・不足する教員分の備品確保、トイレ関係グッズの補給を検討中 <△> ・学校祭で展示 <○> ・防災士来校による研修と校内点検を実施<◎></p>
	<p>(4) グローバル人材の育成</p>	<p>(4) ア 国際理解教育推進 イ 台湾への研修旅行の計画実施（海外研修旅行が無理な場合は国内で国際交流可能な場所を設定）、事前事後学習の充実</p>	<p>(4) ア・T-NET、外部講師（留学生等）を招いた国際交流授業15回/年 [10回/年] イ・当該学年の事前交流実施2回/年 [実施できず] ・令和5年度以降の海外研修旅行実施に向けた検討</p>	<p>(4) ア・T-NET 7回、OFIX5回実施 <△> イ・R4年度台湾研修旅行を九州に変更し佐世保で国際交流を実施、R5年度も九州での研修旅行を予定、R6年度台湾研修旅行を検討 <△></p>

府立とりかい高等支援学校

<p>4 校務の効率化による働き方改革</p>	<p>(1) 働き方改革の推進と業務分担の適正化</p>	<p>(1) ア 在校等時間管理及び健康管理 毎週金曜日の「全校一斉退庁日」の徹底</p> <p>イ 組織改編後の円滑な業務遂行を確認</p> <p>ウ 職員会議による情報共有や職員研修を通じたよりよい職場環境づくりの推進</p>	<p>(1) ア・長時間勤務の縮減をめざし定期的な声かけを実施 ・時間外勤務 45H 超教員へ状況通知 1 回/月 ・80H 超0人をめざす [延べ3人/年]</p> <p>イ・校長の学校運営に関するシートの項目好評価 80%以上 [80%]</p> <p>ウ・職員対象クリーン大作戦実施 3回/年 [3回/年] ・ストレス度チェック指数 90 台 [90] ・学校教育自己診断「教員がどんなことでも気軽に話し合えるような職場の人間関係が来ている」項目 肯定率 70%[61.0%]</p>	<p>(1) ア・毎週、定時退庁の声かけ実施 <○> ・毎月1回 45H 教員に状況通知 <○> ・80H 超延べ1人 <△></p> <p>イ・校長の学校運営に関するシートの項目好評価 9割 <◎></p> <p>ウ・クリーン大作戦実施 3回/年 <○> ・ストレスチェック度 90 <○> ・学校教育自己診断「教員がどんなことでも気軽に話し合えるような職場の人間関係が来ている」肯定率 66.7% <△></p>
-----------------------------	----------------------------------	---	---	--